

2015年7月14日

株式会社日本レースプロモーション

7月18日(土)～19日(日)
2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第3戦
富士スピードウェイ大会選手権概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 白井 裕、所在地:東京都千代田区)は、7月18日(土)～19日(日)の2日間、静岡県 富士スピードウェイ レーシングコース(1周:4.563km)で開催される「2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ第3戦富士スピードウェイ大会」について選手権概要を発表します。

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ全7戦は、ドライバーチャンピオンが争われるアジア地域唯一の国際格式選手権シリーズで、日本全国6カ所のサーキットを転戦。選手権ポイント合計の多い順に年間シリーズ順位を決定します。

本大会には11チーム(エントリー)、19名(19台)のドライバーがエントリー。海外6か国(イギリス、ドイツ、イタリア、ベルギー、ブラジル、インド)から強豪外国人ドライバー7名が参加するなど、世界最高峰のフォーミュラ1マシンと同等のコーナリングスピードで繰り広げられるレースは、国内選手権の枠を超えた世界的なレベルでの高度なレーシングバトルが期待されます。

富士スピードウェイは、310km/hを超える最高速が記録される直線、マシンの限界が試されるような高速コーナー、最終セクションには複合コーナーが配される難コースで、高度なドライビングテクニックが要求されます。気温が高くなるこの時期の大会では、人にもマシンにもタイヤにも大きな影響がおよびます。この暑さはドライバーに対し体力・集中力・精神力が求められ、マシンに対しては発熱量が自然吸気エンジンを大きく上回るターボエンジンでは大きな負担がかかるため熱対策が必要となり、高くなる路面温度に対してはよりシビアなタイヤマネジメントが不可決となります。また、このようなハードな環境のなか、様々なレース要素を如何にまとめ上げてゆか、チームの総合力も見どころです。

前戦岡山大会で自身初の優勝をはたし連覇が期待されている石浦宏明(プロムュー/セルモ・インギング)、国内復帰2戦目で2位となり徐々に実力を見せ始めている小林可夢偉(キグナススノコチームルマン)、岡山大会で表彰台に上がりホンダ勢として今大会の優勝が期待されている野尻智紀(ドコモチーム ダンディライアン レーシング)、前戦を怪我の治療でキャンセルし今大会より復帰するディフェンディングチャンピオン中嶋一貴(ペトロナス・チーム・トムス)が、今大会注目のドライバーです。



第2戦岡山大会で初の優勝をはたしシリーズポイントランキングトップに躍り出た
プロムュー/セルモ・インギング #38石浦宏明

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

八 NINKI-ICHI
人気酒造

【ご参考】

1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオン ドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより賞金とシリーズドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

3. レース車両

シャシーはダラーラ社(イタリア)製のSF14。エンジンはホンダとトヨタが供給する、排気量2,000cc、直列4気筒ダイレクトインジェクション、Honda HR414EまたはTOYOTA RI4Aを使用しています。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイクです。

4. オーバーテイクシステム

エンジンに燃料リストリクター(燃料流量規制システム)を活用し、燃料供給量を一時的に上げ通常時の約105%のパワー(約30馬力)(※注:1)注を発生させオーバーテイクを促すシステムです。ステアリングにあるボタンを操作し、1回のレースにつき原則5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。またポイントリーダードライバーは、赤色オーバーテイクランプ(リーダーズレッド)を装着しています。尚、このシステムは、スーパーフォーミュラ独自の仕組みです。

注:1)オーバーテイクシステムのパワーの上がり方は、レースによって設定が異なり、富士と鈴鹿大会は約105%、その他大会は約110%となります。

5. 公式予選 -ノックアウト方式-

公式予選はノックアウト方式(※注:2)で行われます。予選時間を3つに分け、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。Q1でベスト14位に、Q2でベスト8位に無理なく勝ち残り、Q3でベストタイムを記録して上位につけるとい流れが理想的な予選運びとなります。

※注:2)19台エントリーの場合:Q1(20分間)で15位から19位までのスタート位置を決定、10分間のインターバルの後、Q2(7分間)を行い9位から14位までのスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1-8位までの決勝レーススタート位置を決定します。

6. 決勝レース

決勝レースは、富士スピードウェイ国際公認レーシングレーシングコースを55周、トータル250.965kmで行なわれます。

2015年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	pp
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2の勝者には通算ポイント別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントリー)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4/ 18~19	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250km
5/ 23~24	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250km
7/ 18~19	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250km
8/ 22~23	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km
9/ 12~13	第5戦/オートポリス	ノックアウト	250km
10/ 17~18	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km
11/ 7~8	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

Series Partner

Series Supporter

Promotion Partner

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第3戦 富士スピードウェイ エントリーリスト

(シャーシ:SF14、タイヤ:ブリヂストン)

No.	ドライバー	年齢 出身	チーム 監督	エンジン
1	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985.1.11 日本 愛知県	PETRONAS TEAM TOM'S ペトロナス・チーム・トムス	TOYOTA RI4A
2	アンドレ・ロツテラー Andre Lotterer	1981.11.19 ドイツ	舘 信秀	
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983.8.25 イギリス	KONDO RACING コンドー レーシング	TOYOTA RI4A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992.9.17 イギリス	近藤 真彦	
7	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994.3.7 日本 広島県	KYGNUS SUNOCO Team LeMans キグナス スノコ チーム ルマン	TOYOTA RI4A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986.9.13 日本 兵庫県	土沼 広芳	
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986.11.20 日本 栃木県	HP REAL RACING エイチピーリアル レーシング	Honda HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984.6.1 日本 東京都	金石 勝智	
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988.7.11 日本 栃木県	TEAM 無限 チーム 無限 手塚 長孝	Honda HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991.7.25 日本 東京都	KCMG ケーシーエムジー 土居 隆二	TOYOTA RI4A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981.7.13 ブラジル	Lenovo TEAM IMPUL レノボ チーム インパル	TOYOTA RI4A
20	アンドレア・カルダレッリ Andrea Caldarelli	1990.2.14 イタリア	星野 一義	
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980.8.1 日本 群馬県	DRAGO CORSE ドラゴ コルセ 道上 龍	Honda HR-414E
38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981.4.23 日本 東京都	P.MU/CERUMO-INGING プロミュー/セルモ・インギング	TOYOTA RI4A
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990.9.12 日本 神奈川県	立川 祐路	
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989.9.15 日本 茨城県	DOCOMO TEAM DANDELIONRACING ドコモ チーム ダンテライオンレーシング	Honda HR-414E
41	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977.1.14 インド	村岡 潔	
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989.1.29 日本/愛知県	NAKAJIMA RACING ナカジマレーシング	Honda HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986.2.23 ベルギー	中嶋 悟	

2015年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ シリーズポイントランキング

シリーズポイントランキング

ドライバー

順位	No.	ドライバー	ポイント	4/19	5/24	7/19	8/23	9/13	10/18	11/8	
				鈴鹿 Rd. 1	岡山 Rd. 2	富士 Rd. 3	もてぎ Rd. 4	オートボリス Rd. 5	菅生 Rd. 6	Rd. 7-1	鈴鹿 Rd. 7-2
1	38	石浦 宏明	15	4	<u>11</u>						
2	2	アンドレ・ロッチェラー	11	<u>10</u>	1						
3	19	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ	9	5	4						
4	8	小林 可夢偉	8	0	8						
5	1	中嶋 一貴	8	8	—						
6	40	野尻 智紀	7	1	6						
7	16	山本 尚貴	6	<u>1</u>	5						
8	41	ナレイン・カーティケヤン	6	6	0						
9	11	伊沢 拓也	4	2	2						
10	20	アンドレア・カルダレッリ	3	0	3						
11	64	中嶋 大祐	3	3	0						
	7	平川 亮	0	0	0						
	65	ベルトラン・バゲット	0	0	0						
	4	ウィリアム・ブラー	0	0	0						
	10	塚越 広大	0	0	0						
	1	大嶋 和也	0	—	0						
	34	小暮 卓史	0	0	0						
	3	ジェームス・ロシター	0	0	0						
	18	中山 雄一	0	0	0						
	39	国本 雄資	0	0	0						

● 表中ポイント数字表示 **太字イタリック** : 優勝 **下線** : 予選ポールポジション

チーム

順位	No.	チーム	ポイント	4/19	5/24	7/19	8/23	9/13	10/18	11/8	
				鈴鹿 Rd. 1	岡山 Rd. 2	富士 Rd. 3	もてぎ Rd. 4	オートボリス Rd. 5	菅生 Rd. 6	Rd. 7-1	SUZUKA Rd. 7-2
1	1/2	ベトロナス・チーム・トムス	19	<u>18</u>	1						
2	38/39	プロミンノルセ・インギツグ	14	4	10						
3	40/41	ドコモ チーム ガンデイヤン レーシング	13	7	6						
4	19/20	レノボ チーム インバル	12	5	7						
5	7/8	キグナス スノコ チーム ルマン	8	0	8						
6	16	チーム 無限	5	0	5						
7	10/11	リアル レーシング	4	2	2						
8	64/65	ナカジマ レーシング	3	3	0						
	3/4	コンドー レーシング	0	0	0						
	18	ケーエムシー	0	0	0						
	34	ドラゴ コルセ	0	0	0						

● 表中ポイント数字 **太字イタリック** : 優勝

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

人 NINKI-ICHI
人気酒造

—開催概要—

■大会名称 : 2015 全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第3戦 富士スピードウェイ

■併催レース : 2015年 全日本フォーミュラ3選手権 第12戦&第13戦

2015 GTアジア 第5戦&第6戦

2015 N-ONE OWNER'S CUP Rd.4

WAKO'S スーパーカートカップ 第4戦

■主催 : 富士スピードウェイ株式会社/富士モーターズスポーツクラブ (FMC)

■公認 : 国際自動車連盟 (FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)

■認定 : 株式会社日本レースプロモーション (JRP)

日本フォーミュラスリー協会 (JF3A)

モーターズスポーツアジア (MA) / Hondaワンメイクレース事務局 (HORS)

■後援 : 静岡県小山町/御殿場市/裾野市

公益社団法人静岡県観光協会/小山町観光協会/御殿場市観光協会/

裾野市観光協会

K-mix/東京中日スポーツ/中日スポーツ

【TV放映予定】

■ JSPORTS

全7戦の予選と決勝の様様をライブ中継。その他、再放送やレースダイジェスト番組も放送。

今大会では「真夏の全開モーターズスポーツDay!」と称し日曜決勝日の終日生中継を実施。

・予選放送: 2015年7月18日(土)14:30~16:00(生放送)

・決勝放送: Part1・・・2015年7月19日(日)08:30~13:20(生放送・フリー走行、ピットワーク、サポートレースほか)

Part2・・・2015年7月19日(日)13:30~16:00(生放送・決勝レース)

・ダイジェスト: 2015年7月31日(日)21:50~22:00

■ BSフジ

全7戦のレースハイライトとドライバー・チームに焦点をあてたミニドキュメンタリー番組「スーパーフォーミュラ Go On!」を放送。

・初回放送: 2015年7月24日(金)深夜00:00~00:55 ・今回の特集:小林可夢偉選手(予定)

・再放送: 2015年7月31日(金)深夜00:00~00:55

■ フジテレビCS放送「フジテレビNEXTライブ・プレミアム」

全7戦のレースハイライトと、参戦ドライバーをゲストに迎えて、スーパーフォーミュラの魅力や、ドライバーの本音などを楽しくお届けするスタジオトーク番組「スーパーフォーミュラTV」を放送。インターネット有料チャンネル「フジテレビNEXTsmart」でも同時配信

・初回放送: 2015年7月24日(金)夜22:30~23:00 ・スタジオゲスト:中嶋一貴選手(予定)

・再放送:有り

※詳しい放送スケジュールについては、各番組オフィシャルウェブサイト、もしくは「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

三 人気酒造

○映像の配信

■ GYAO!

大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。

配信映像は無料動画ステーションGYAO!オフィシャルページ(<http://gyao.yahoo.co.jp/p/00830/v09524/>)から視聴可能です。

※配信日時は変更となる場合があります。

■ YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信。

※配信日時は変更となる場合があります。

詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

【チケット情報】

●前売観戦券(2日間有効)

大人1名:5,700円/ペア券(大人2名):10,300円

※中学生以下は保護者同伴に限り入場無料

●駐車券(予選決勝日 各日)

4輪普通車:1,600円

2輪車:800円

●パドックパス

前売 大人1名:16,000円(観戦料込み)

当日 大人1名:11,400円(観戦料別途)

子供1名(小中学生):5,700円 ※当日券のみ

●ピットウォーク券

予選日 1名:1,600円

決勝日 1名:2,100円

*観戦情報、チケットなどの詳細は、富士スピードサーキット公式サイト レースチケットのご案内

(http://www.fsw.tv/2ch/2.5ticket/info_sf3/index.html/)をご参照ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformula.net/>)

102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

e-mail:media@superformula.net

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135

広報担当:遠藤清人 携帯電話:090-34018112

e-mail:media@jrp-inc.net